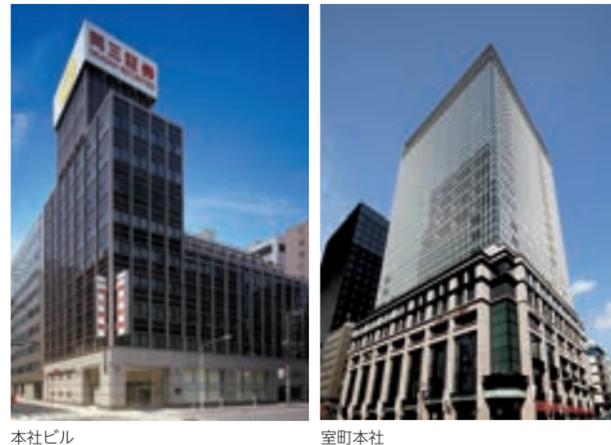


■ 会社概要 (平成28年11月18日現在)

商号 株式会社岡三証券グループ
(OKASAN SECURITIES GROUP INC.)
所在地 東京都中央区日本橋一丁目17番6号
創業 大正12年4月4日
設立 昭和19年8月25日
資本金 18,589,682,639円
従業員数 3,536名 (第79期第2四半期連結ベース)
上場金融商品取引所 東京・名古屋証券取引所



本社ビル

室町本社

■ 株式の状況 (平成28年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 750,000,000株
発行済株式の総数 208,214,969株
株主数 22,384名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	9,732	4.87
農林中央金庫	9,700	4.85
三井住友信託銀行株式会社	8,726	4.37
大同生命保険株式会社	8,660	4.33
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,822	2.91
有限会社藤精	5,266	2.64
株式会社りそな銀行	4,937	2.47
株式会社みずほ銀行	4,925	2.47
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	4,924	2.46
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,848	2.43

※ 当社は、自己株式8,419,018株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



株価および出来高の推移 (東証・月間)



■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月中に開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 1,000株
公告方法 電子公告 (当社ホームページに掲載) <http://www.okasan.jp>
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031 (平日9:00~17:00/土・日・休日を除く)
(URL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、株主さまの口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社の口座をご利用されていない(特別口座に株式のある)株主さまは、左記電話照会先までご連絡ください。

配当金のお受取り方法について

配当金のお受取り方法につきましては、便利なお指定口座への口座振込による方法のほか、証券会社のお取引口座において株式数に応じてお受取りいただく方法、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口でお受取りいただく方法がご利用いただけます。

お手続きにつきましては、株主さまの口座のある証券会社または三井住友信託銀行(特別口座に株式のある株主さま)へお問い合わせください。

株主のみなさまへ

第79期中間のご報告 (平成28年4月1日~平成28年9月30日)

株式会社 岡三証券グループ

■ ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第79期中間のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

内外の政治、経済の不確実性の高まりや金融テクノロジーの変革が急進展するなか、当社グループは「投資アドバイスのプロフェッショナル集団」を目指し、一層付加価値の高いサービスを提供できる体制の構築に努めております。

グループの中核企業である岡三証券では、旗艦店舗の名古屋支店を移転リニューアルし、お客さま一人ひとりに高度な情報やコンサルティングを提供できる店舗づくりを推進したほか、来年から個人型確定拠出年金の加入対象者が拡大することに先立ちサービスの大幅な強化を打ち出しました。また、岡三オンライン証券ではさらに使いやすいトレードツールを新たに開発するなど一層の利便性向上に取り組んでおります。

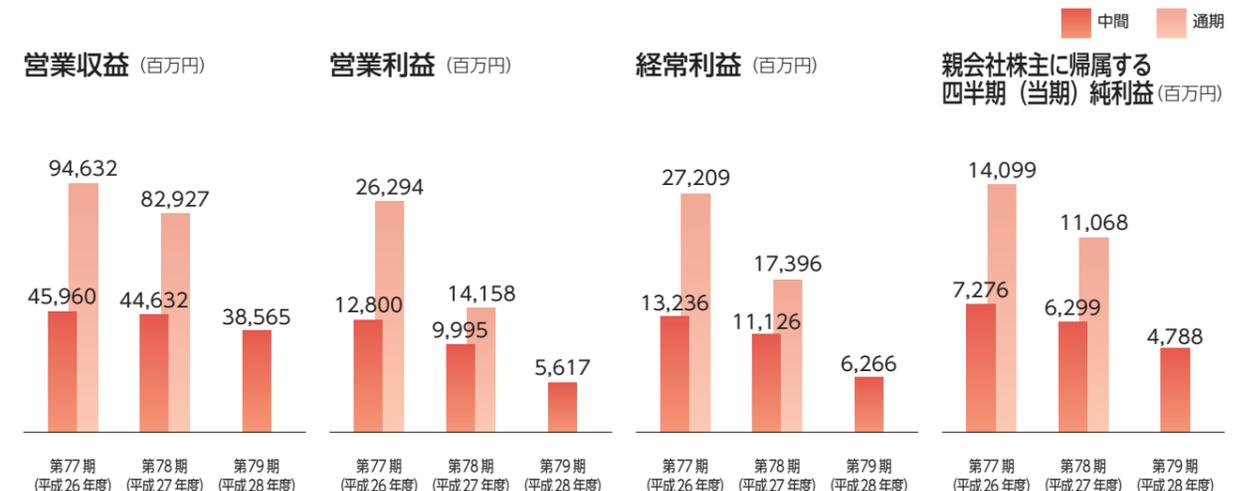
一方、コーポレートガバナンス・コードの精神、趣旨を踏まえたうえで、統合報告書の発行、IRイベントへの出席、決算説明会の開催などを通じて、株主、投資家のみなさまとの対話も進めてまいりました。

今後とも、創業以来守ってまいりました「お客さま大事」の経営哲学のもと、持続的な企業価値の向上に向けて、グループ全体のビジネスモデルなどの構造改革についても果敢に挑戦してまいります。株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



平成28年11月 取締役社長 新芝宏之

■ 業績ハイライト (連結)



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期 (平成27年9月30日)	当年度第2四半期 (平成28年9月30日)
<資産の部>		
流動資産	516,310	394,102
現金・預金	52,195	57,070
預託金	61,118	61,891
トレーディング商品	152,853	114,302
信用取引資産	55,392	35,062
有価証券担保貸付金	184,426	114,661
その他の流動資産	10,323	11,114
固定資産	81,320	78,727
有形固定資産	18,963	19,291
無形固定資産	8,766	10,351
投資その他の資産	53,590	49,085
資産合計	597,630	472,830

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期 (平成27年9月30日)	当年度第2四半期 (平成28年9月30日)
<負債の部>		
流動負債	396,221	273,015
トレーディング商品	107,043	94,484
約定見返勘定	6,862	13,863
信用取引負債	10,060	11,953
有価証券担保借入金	70,161	—
預り金	49,767	34,516
受入保証金	38,203	32,842
短期借入金	105,384	76,566
その他の流動負債	8,737	8,788
固定負債	28,635	27,445
特別法上の準備金	2,630	1,329
負債合計	427,487	301,790
<純資産の部>		
株主資本	129,693	134,693
資本金	18,589	18,589
資本剰余金	12,982	13,157
利益剰余金	101,898	106,583
自己株式	△ 3,777	△ 3,637
その他の包括利益累計額	15,377	10,153
新株予約権	92	161
非支配株主持分	24,980	26,032
純資産合計	170,143	171,040
負債・純資産合計	597,630	472,830

四半期連結損益計算書

科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期累計 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当年度第2四半期累計 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業収益	44,632	38,565
① 受入手数料	31,800	21,959
② トレーディング損益	11,183	15,494
金融収益	1,215	720
その他の営業収益	433	391
金融費用	709	554
純営業収益	43,923	38,011
③ 販売費・一般管理費	33,928	32,393
営業利益	9,995	5,617
営業外収益	1,275	737
営業外費用	144	87
経常利益	11,126	6,266
特別利益	182	1,624
特別損失	117	174
税金等調整前四半期純利益	11,191	7,716
法人税、住民税及び事業税	3,290	2,246
法人税等調整額	350	△ 72
法人税等合計	3,641	2,174
四半期純利益	7,549	5,542
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,250	754
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,299	4,788

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期比13.6%減の385億65百万円となりました。

①受入手数料

受入手数料は、前年同期比30.9%減の219億59百万円となりました。投資信託関連収益や株式委託手数料が減少しました。

②トレーディング損益

トレーディング損益は、前年同期比38.5%増の154億94百万円となりました。主に米国株式の取引拡大が寄与しました。

③販売費・一般管理費

販売費・一般管理費は、前年同期比4.5%減の323億93百万円となりました。証券ビジネスやアセットマネジメントビジネスにおける取引関係費が減少したほか、人件費も減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比43.7%減の62億66百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同24.0%減の47億88百万円となりました。

OKASAN TOPICS

岡 三 ト ピ ッ ク ス

岡三証券グループ 「統合レポート2016」を発刊

岡三証券グループは、本年9月に初の統合報告書、「統合レポート2016」を発刊いたしました。

「統合レポート2016」では、経営戦略や価値創造モデル、ガバナンスなどの非財務情報と、決算等の財務情報を統合的にまとめており、当社グループのビジネスモデルや長期的な価値創造力についてより深くご理解いただける内容を目指しました。

今後も株主様をはじめとするステークホルダーのみなさまに向けた情報発信の強化に努めてまいります。

なお、「統合レポート2016」は当社ウェブサイト (<http://www.okasan.jp>) に掲載しております。



岡三証券グループ 「日経IR・投資フェア2016」に出展

岡三証券グループは、本年8月26日、27日の2日間にわたり東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された「日経IR・投資フェア2016」に金融協賛社として出展しました。

岡三証券グループのブースでは、岡三証券のコンサルタントによる投資相談コーナーや岡三オンライン証券の取引ツール体験コーナーを設けたほか、岡三証券、岡三オンライン証券、岡三アセットマネジメントの3社がブース内で開催した投資セミナーは、大勢の立ち見が出るほどの盛況となりました。

また、大会場で開催した岡三証券のストラテジストによる講演会には、定員100名を大幅に上回る希望者が詰めかけました。



岡三証券 名古屋支店を移転リニューアル

岡三証券は本年4月、東海地区の旗艦店舗である名古屋支店の移転リニューアルを実施しました。

コンサルティングスペースやセミナールームなどを拡充したほか、本社の商品・情報提供力をフル活用できる機能を備え、お客さま一人ひとりに高度な情報やコンサルティングサービスをご提供する体制を強化しました。

今後も、資産運用について納得のゆくまでじっくりご相談いただける店舗づくりに努めてまいります。



岡三オンライン証券 「岡三かんたん発注」をリリース

岡三オンライン証券は本年5月、もっと簡単に、もっとシンプルに使える取引ツールがほしいというお客さまの声にお応えし、新たな株式取引ツール「岡三かんたん発注」をリリースしました。

「岡三かんたん発注」は、「かんたん・お手軽・やさしく発注」をコンセプトに開発し、大きなボタン、大きな文字でとても見やすく、分かりやすい画面構成となっています。シンプルな操作で、株取引が初めての方でも簡単・お手軽にご利用いただけます。また、投資情報などお役に立つ情報も簡単に表示できます。

岡三オンライン証券では今後も「お客さまの「声」をカタチに」をスローガンに、サービス向上に取り組んでまいります。

